

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	48	希望や嗜好を言葉で表現することが、難しい方が多く、その方が本当はどのように思われているのか、職員が把握しきれていない。	すべての入居者に一日、楽しく笑顔で過ごしていただく。一日一度は声を出して笑って頂く	* 歌を歌う。* 入居者の隣に座り、一対一で昔の話を傾聴する。* 散歩をする。* マッサージが好きな方にしていただく。* 食器洗いなど手伝って頂くとき、一緒にお話をする。	3ヶ月
2	27	個別の記録の方法に職員間でばらつきがある	どの職員が記録しても、すべての職員が内容を理解し、ケアに活かせる。書く必要のあるものないものを理解し、無駄な作業を減らす。	* 同じ内容を複数記録する必要はない。* ケース記録には記録していないことを記入する。(話した内容、入居者の具体的な様子など)* 通常と違うことが起きた場合は必ず記入する。* 職員の主観は必要なく、客観的な事実のみ記入する。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。